

まちという名の家族



子育てを楽しむパパを応援！

男性の育児参加を促してきた「イクメン」という言葉に代わり、夫婦で育児を分担する「共育（トモイク）」という呼称が広がり、「育児をしている男性はかっこいい」という時代から、「当たり前のように育児を行う」という認識に少しづつ変化してきています。厚生労働省は令和7年7月に「共育（トモイク）プロジェクト」を開始し、男女ともに家事・育児を分かち合い、「共働き・共育て」の推進を新たなテーマに掲げました。まちも子どもも親もみんなが元気で支え合い、安心して健やかに子育てできる環境づくりを目指します。

子育て支援センター「スキップ」では、毎月年齢別のあるべきの広場を開催。手づくりおもちゃを作ったり、親子で身体を使って遊んだり、子どもだけではなく保護者同士の繋がりの場にもなっています。



かんがるーグループあそびの広場の様子

かんがるーグループに参加したパパの声／

普段、家では見られない我が子の姿が見られて良かったです。同年代の赤ちゃんがたくさんいて可愛かったです。



山崎 けいたさん・彩夏さん
夏陽くん（4ヶ月）
＊取材当時の月齢です



渕野 ひろむさん・成美さん
蓮くん（5ヶ月）
＊取材当時の月齢です

●子育て支援センターあそびの広場内容

	かんがるーグループ	ひよこグループ	こあらグループ
対象	3ヶ月～5ヶ月	6ヶ月～1歳5ヶ月	1歳6ヶ月～未就園児
期日	毎月第3火曜日	毎月第2火曜日	毎月第4火曜日
時間	11時～12時	10時30分～11時30分	10時30分～11時30分
申込	予約なし	事前予約	事前予約

*変更になることもあるので、広報まちという名の家族などをご確認ください。

【問い合わせ】
子育て支援センター「スキップ」☎ 72-1280



【問い合わせ】住民保健課健康推進グループ☎ 73-2256

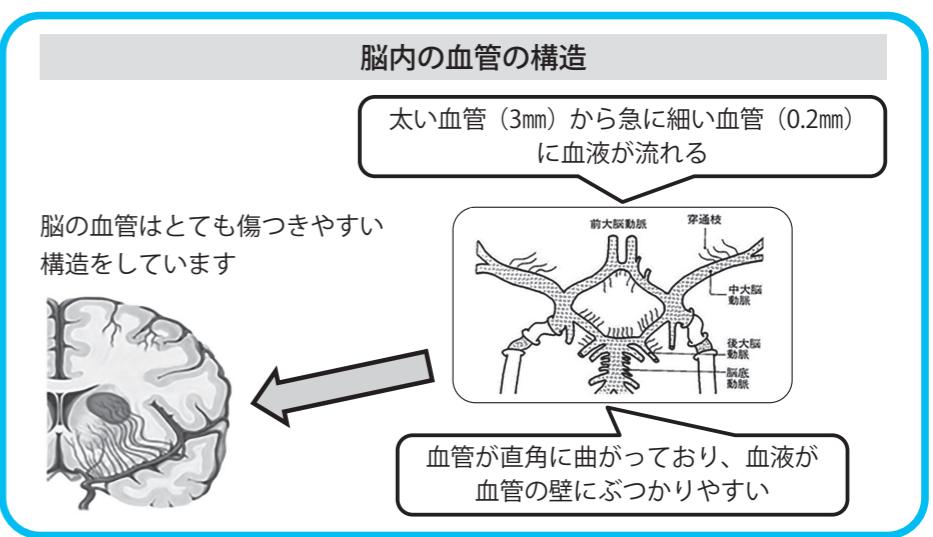
脳卒中を予防しよう

脳卒中は脳の血管が詰まったり（脳梗塞）、破れたりする（脳出血）ことによって脳が障がいを受ける病気です。外の気温が下がる冬場に発症しやすいため、この時期は特に注意が必要です。

脳の血管の構造には弱点があることを知っていますか？

脳の血管壁は薄く、複雑に曲がり密集しています。ひとつの血管が詰まると、その先の脳の細胞に血液を運べません。

血液が運べなくなると身体の細部に酸素が届かないため、脳の細胞の一部が機能しなくなり、身体の麻痺やしびれといった障がいが後遺症として残ることもあります。



脳卒中を予防するポイント

- ・寒い時期は、体から熱を逃さないために血管が収縮し、血圧が上がりやすくなるため、自宅で測定する血圧を125/75mmHg未満に保ちましょう。（高血圧管理・治療ガイドライン2025より）
- ・年に一回健診を受けて自身の健康状態を確認しましょう。

個別健診のお知らせ

■町内医療機関で受診の際は、
下記医療機関へ直接ご連絡ください。

- ・栗山赤十字病院 72-1015
- ・長岡医院 72-1171
- ・梶整形外科医院 72-0058
- ・板垣医院 72-0250



※健診項目などの詳細は令和7年5月号折込
「保健サービスガイド」をご覧ください。

献血のお願い

【献血実施日】

2月26日(木)

- ・共立道路株式会社
9:30～11:15
- ・株式会社エクセルシャノン栗山工場
12:00～12:45
- ・栗山町役場
14:30～16:30

